

<参考>

アホウドリについて

アホウドリ (*Diomedea albatrus*) ミズナギドリ目アホウドリ科
絶滅危惧Ⅱ類 (環境省レッドリスト 2006)

分布及び個体数

- ・繁殖地は、日本の伊豆諸島鳥島と尖閣諸島のみ。
- ・非繁殖期には、北大西洋のベーリング海やアリューシャン列島、アラスカ沿岸まで移動する。
- ・1949年の調査で1度絶滅宣言が出されたが、1951年に約10羽が鳥島で再発見された。
- ・減少要因は、1890～1900年代に羽毛採取のために大量に捕獲されたことによる。

形態及び生物学的特性

- ・成熟個体で全長が84～94cm。
- ・成長は、胴部と翼の基部が白色で頭部は淡黄色。翼の先端部から後縁にかけてと尾の先端が黒褐色。ヒナ～2歳頃までの若鳥は全身黒褐色の羽毛で、成長羽になるまでは7～8年以上かかる。
- ・繁殖活動は10月～翌年5月。
- ・巣立ち後3～4年で巣立った場所へ戻ってくる。7歳頃から繁殖に参加するが、巣立った場所で繁殖を行う傾向が強い。

保護の対策

- ・種の保存法に基づく「国内希少野生動植物種」に指定 (平成5年)
- ・国の特別天然記念物

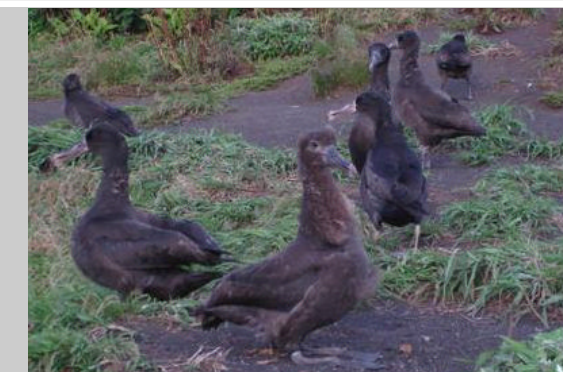
写真



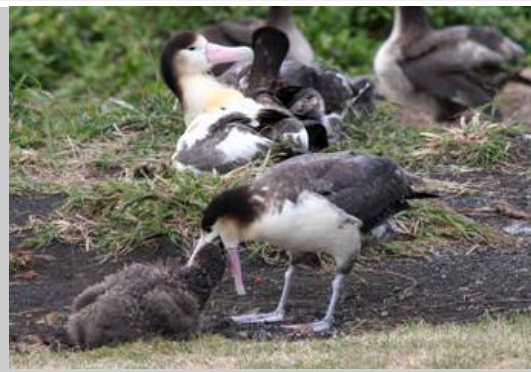
繁殖ペア(手前はクロアシアホウドリ)



求愛ダンス



巣立ち直前のヒナ(5月)



給餌